

武蔵野陽和会病院広報部 2020年10月15日
むさしの陽和会だより 65号目次

病院における事務職員の役割について思うこと

事務次長 佐藤正章

病院は医師、看護師をはじめ職員全体の9割以上が国家資格の有資格者で組織され、日々皆様方に医療行為を提供しています。そんななか、事務部門の職員だけが特に資格を必要とされているわけでもなく、現場の実務による経験で評価されています。



回復期リハビリテーション病棟のご紹介

当病棟はリハビリテーションに関する実績を積み、また人員配置等を再編し、2020年8月より一番高い基準でリハビリテーション医療を提供できるようになりました。基本的には回復期リハビリテーション病棟に入院される時期が、最もリハビリ効果が期待できる時期といわれています。



腹部エコーを受ける時の疑問？

腹部エコー検査を受けるときにいろいろな注意があると思いますが、その中でも患者さんからよく質問される2つについてお答えします。



早期離床の重要性



「早期離床」、つまりなるべく早くベッドから起き、活動をすることの効果と言われ始めたのは、1899年 RIES という婦人科医の報告が最初と言われています。日本では1910年代に婦人医により早期離床の効果が報告されはじめました。

医療福祉相談室のお仕事

医療福祉相談室と聞いて、どんな所だろうと思う方も多いと思いますので、ここで簡単に説明します。福祉関係の制度もかなり複雑になっていて、介護保険や障害者制度、生活保護等の仕組みや利用方法の説明、退院後の生活、転院先の相談、他の医療機関からの転院相談などを受けています。特に入院している時は、私達とお話する機会も多いかと思います



安全管理部門の活動

安全な医療を提供することは医療機関に課せられた最大の責務です。今回は安全管理部門の活動のなかから“安全ラウンド”をご紹介します。



桜並木クリニックのご案内

さくら並木クリニックは、隣接した本院（武蔵野陽和会病院）と連携しながら、人工透析をメインに、皮膚科を併設したクリニックで、開設から14年になります。